

学部： ビジネス情報学部

学科： 国際ビジネス

役職： 教授

氏名： 吉田一康



最終学歴・学位： Ph.D.of Law (School of Law, The University of Edinburgh)

主な職歴： 不動産会社、法律特許事務所勤務

担当授業科目： 国際取引法（学部及び大学院）、日本国憲法、ビジネス法学入門、専門ゼミ、卒業研究

所属学会等： 日本ADR法学会、日本比較経営学会

専門・研究領域： 国際商事仲裁、国際取引法

主な論文・著作：

- 1.“Determination of the Seat of Arbitration under the Arbitration Act 1996.” Arbitration: Journal of the Chartered Institute of Arbitrators, Vol.64, No.4, London, 1998: pp.292-294.
- 2.“Lesson from the Atlantic Emperor: Some Influence from the Van Uden Case.” Arbitration International Vol.15, No.4, London, 1999: pp.359-380.
- 3.“Comparison of Awarding Interest on Damages in Scotland, England, Japan and Russia.” Journal of International Arbitration, Vol.17, No.2, London, 2000: pp.41-72.
- 4.“Comparative Study of International Commercial Arbitration in England, Japan and Russia.” Ph.D. Thesis, University of Edinburgh, University of Edinburgh, 2000.
- 5.「ロシアの国際商事仲裁について」比較経営学会誌（Analysis of the Association for Comparative Studies of Management）2002年第26号（Vol.26, Tokyo, 2002）： pp.75-84.
- 6.“Separability of an Arbitration Agreement in Russia: Some Suggestions for Unified Classification.” Arbitration International, Vol.19, No.1, London, 2003: pp.95-112.
- 7.「ロシアの国際商事仲裁と裁判管轄について」ロシア・ユーラシア経済調査資料 2006年12月号（No.894）： pp.18-26
- 8.「第24章国際取引と法」（pp.182-188）フレームワーク法学入門（石川明編）2007年不磨書房
- 9.「ロシアでの仲裁判断の執行について」ロシア・ユーラシア経済－研究と資料 2008年2月号： pp.37-42.
- 10.“History of International Commercial Arbitration and its Related System in Russia” Arbitration International, Vol.25, No.3, London, 2009 : pp.365-402.
- 11.「日本のウィーン売買条約加盟によるロシア企業と日本企業間の売買契約への同条約の適用について」ロシア・ユーラシア経済－研究と資料 2010年5月号： pp.40-46.
- 12.「国際商業会議所の仲裁プログラムについて」JCAジャーナル 2011年5月号： pp.10-14.
- 13.「カザフスタンの国際商事仲裁について」（科研費・課題番号 23402013「ロシア連邦とカザフスタン共和国の国際商事仲裁制度の比較研究」の助成を受けたもの）JCAジャーナル 2012年5月号： pp.2-7.
- 14.「新・国際商事仲裁関係判例紹介」JCAジャーナル（2007年7月号より2019年12月号まで4か月毎連載）

## 書評

1. 「ロシアビジネス成功の法則」 ロシア・ユーラシア経済－研究と資料 2008 年 8 月号：pp.48-51.

## 学会・講演発表など

1. 「ロシアの国際商事仲裁について」 2001 年 4 月 13 日第 26 回比較経営学会全国大会（専修大学）
2. 「ロシアの国際取引及び国際商事仲裁」 2002 年 1 月 31 日第 45 回名古屋商工会議所国際取引研究会
3. 「欧州司法裁判所の仲裁に関する判断について」 2006 年 10 月 28 日慶応義塾大学 21 世紀 COE プログラム・トランスナショナル地域統合研究カンファレンス
4. 「世界の法制度の比較」、「アジアでの社会規範のとまどい」及び「日本の新たな司法制度の改革の概要」 2007 年 9 月 11 日生涯学習総合センター（大宮）平成 19 年度さいたま市民大学（教養発展コース）
5. 「ロシアとカザフスタンの国際商事仲裁制度の比較について」（科研費・課題番号 23402013 「ロシア連邦とカザフスタン共和国の国際商事仲裁制度の比較研究」の助成を受けたもの） 2013 年 5 月 11 日日本比較経営学会第 38 回全国大会（鹿児島国際大学）
6. 「Investor-State Arbitration in Korea-China FTA」 2013 年 7 月 17 日韓国国際経済法学会他主催「韓国・中国 F T A 研究発表会」の「仲裁に関する部会」討論者（韓国・ソウル）

## 【文部科学省科学研究費：研究代表者のみ】

「カザフスタンの国際商事仲裁について」（科研費・課題番号 23402013 「ロシア連邦とカザフスタン共和国の国際商事仲裁制度の比較研究」（2011 年 4 月～2014 年 3 月）